

2023年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日
東

上場会社名 株式会社コーチ・エイ 上場取引所
 コード番号 9339 URL <https://www.coacha.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 鈴木 義幸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員CFO (氏名) 瀧 順史 (TEL) 03-3237-8050
 定時株主総会開催予定日 2024年3月28日 配当支払開始予定日 2024年3月29日
 有価証券報告書提出予定日 2024年3月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期の連結業績 (2023年1月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期	3,648	1.3	290	△38.7	298	△42.3	75	△81.9
2022年12月期	3,600	8.9	473	30.7	517	24.2	418	70.8

(注) 包括利益 2023年12月期 △105百万円 (-%) 2022年12月期 494百万円 (64.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年12月期	32.87	—	2.6	6.9	7.9
2022年12月期	238.61	—	18.6	13.8	13.1

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期	4,305	2,942	68.3	1,267.61
2022年12月期	4,399	2,873	65.3	1,310.62

(参考) 自己資本 2023年12月期 2,942百万円 2022年12月期 2,873百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年12月期	63	△61	122	3,403
2022年12月期	470	△55	708	3,260

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年12月期	—	0.00	—	20.00	20.00	43	8.4	1.8
2023年12月期	—	0.00	—	20.00	20.00	46	60.8	1.6
2024年12月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00		20.2	

3. 2024年12月期の連結業績予想 (2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当 期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	3,960	8.5	400	37.9	370	23.9	230	203.1	99.09

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 有
 新規 1社（社名）COACH A Americas, Inc.
 除外 1社（社名）COACH A (Hong Kong) Co., Ltd.

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期	2,320,953株	2022年12月期	2,192,400株
② 期末自己株式数	2023年12月期	29株	2022年12月期	1株
③ 期中平均株式数	2023年12月期	2,308,140株	2022年12月期	1,755,961株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算説明資料の入手方法）

決算説明資料については2024年2月9日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における当社グループの経営環境といたしましては、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の第5類への移行に伴い国内経済が回復基調になっているものの、ロシア・ウクライナ情勢に伴う資源・エネルギー価格の上昇や世界的なインフレの加速、円安の進行など、先行き不透明な状況が継続しております。このような環境の中、各企業は不確実な経営環境に対して、戦略の見直しや、イノベーションの実現に向けたリーダーの育成及びコミュニケーションの活性化を進めていくものと見込まれ、今後も人的資本への投資が高まっていくものと考えております。当社グループにおいては、パーパス「私たちは、世界中の人が対話に参加できる機会を創り出し、社会に貢献しています。」の実現を念頭に置き、システミック・コーチング™による組織開発ビジネスやコーチング人材開発ビジネスの営業活動に注力いたしました。また、更なる事業成長のためにコーチ人材の採用及び育成活動を強化するとともに、海外における新たな事業展開のための準備を進めました。さらにシステミック・コーチング™による組織開発ビジネスの拡大のために2023年11月よりAIコーチング「Amit」の販売も開始いたしました。

これらの結果、当連結会計年度における売上高は3,648,872千円、営業利益は290,074千円、経常利益は298,648千円、親会社株主に帰属する当期純利益は75,878千円となりました。なお、当社グループはコーチング事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。また、当連結会計年度における経営成績の分析は下記のとおりであります。

(売上高)

当連結会計年度においては、システミック・コーチング™による組織開発ビジネスおよびコーチング人材開発ビジネスにおいては、事業テーマである顧客基盤の強化・拡大に沿った施策に注力したことにより、売上高は3,648,872千円（前連結会計年度比1.3%増加）となりました。

(売上原価)

当連結会計年度における売上原価は、採用強化に伴うコーチ人員数の増加などにより、1,687,331千円（前連結会計年度比0.9%増加）となりました。

(販売費及び一般管理費)

当連結会計年度における販売費及び一般管理費は、従業員数の増加に伴う人件費の増加、採用活動強化に伴う採用費の増加及び研修費の増加により、1,671,467千円（前連結会計年度比14.9%増加）となりました。

(営業外損益)

当連結会計年度における営業外収益は18,935千円（前連結会計年度比78.8%減少）となりました。主な内容は、円安進行による為替差益14,846千円です。営業外費用は10,361千円（前連結会計年度比76.9%減少）となりました。主な内容は、保有する上場株式の一部売却にかかる支払手数料8,434千円及び上場関連費用1,678千円です。

(特別損益、親会社株主に帰属する当期純利益)

当連結会計年度における特別利益は117,158千円（前連結会計年度はなし）となりました。主な内容は、保有する上場株式の一部売却にかかる投資有価証券売却益116,646千円です。特別損失は181,317千円（前連結会計年度は8,237千円）となりました。内容は、COACH U, INC. にかかるのれんの減損損失163,502千円、COACH A (Hong Kong) Co., Ltd. の清算に伴う関係会社整理損9,937千円、「コーチ・エィ アカデミア」の利便性向上に寄与するシステム移行（電話会議システムからWEB会議システム）などを起因とした固定資産除却損7,876千円です。

以上の結果、親会社株主に帰属する当期純利益は75,878千円（前連結会計年度比81.9%減少）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は4,305,462千円（前連結会計年度末比94,460千円減少）となりました。これは、主に保有する上場株式の一部売却及びのれんの減少が、サービス提供に伴う現金及び預金や売掛金の増加及びオフィス増床に伴う有形固定資産の増加を上回ったことによるものです。

(負債)

負債は1,363,438千円（前連結会計年度末比163,074千円減少）となりました。これは、主に賞与引当金の153,033千円減少および税金納付による未払法人税等の115,562千円減少によるものです。

(純資産)

純資産は2,942,024千円(前連結会計年度末比68,614千円増加)となりました。これは、第三者割当による新株式発行185,361千円の資金調達及び譲渡制限付株式報酬による新株式発行32,485千円により、資本金が108,933千円増加し、資本剰余金が108,913千円増加したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は3,403,321千円となりました。当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果63,021千円の収入(前連結会計年度は470,246千円の収入)となりました。営業利益に比して営業収入が低い主な理由は、前期決算にかかる法人税等の支払額が多額であったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果61,779千円の支出(前連結会計年度は55,042千円の支出)となりました。これは、主にサービス提供のためのソフトウェア開発等に伴う固定資産取得による支出159,293千円が保有する上場株式の一部売却による収入127,646千円を上回ったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果122,983千円の収入(前連結会計年度は708,501千円の収入)となりました。これは、主に第三者割当による新株式発行に伴う収入185,361千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

2024年度の事業につきましては、主力であるシステムミック・コーチング[™]による組織開発ビジネスにおいて、マーケティング活動とクライアント企業の組織課題に沿ったサービスの提供を強化してまいります。また、AIコーチングの導入によるシステムミック・コーチング[™]の拡大を目指しており、これらにより2024年度は、増収を見込んでおります。

また、中長期での会社の成長を支えるコーチ人材の採用と、育成及びコーチ品質向上に注力すると共に、サービス品質向上を支えるIT開発・情報セキュリティへの投資を引き続き推進いたします。

その結果、売上高は3,960百万円(前期比8.5%増加)、営業利益は400百万円(前期比37.9%増加)、経常利益は370百万円(前期比23.9%増加)、親会社株主に帰属する当期純利益は230百万円(前期比203.1%増加)を見込んでおります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、外国人株主比率の推移及び国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当連結会計年度 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,260,933	3,403,321
売掛金	107,878	132,523
棚卸資産	3,025	43,375
その他	95,601	139,707
流動資産合計	3,467,438	3,718,927
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	129,239	169,104
減価償却累計額及び減損損失累計額	△74,996	△82,637
建物附属設備（純額）	54,243	86,467
工具、器具及び備品	78,770	63,976
減価償却累計額及び減損損失累計額	△57,919	△51,707
工具、器具及び備品（純額）	20,851	12,269
有形固定資産合計	75,095	98,736
無形固定資産		
ソフトウェア	144,996	180,948
のれん	180,086	-
その他	36,975	93,678
無形固定資産合計	362,059	274,627
投資その他の資産		
投資有価証券	327,300	38,736
敷金及び保証金	92,491	119,473
繰延税金資産	59,495	38,918
その他	16,043	16,043
投資その他の資産合計	495,329	213,171
固定資産合計	932,484	586,534
資産合計	4,399,922	4,305,462

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当連結会計年度 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	65,521	99,208
未払金	164,327	131,582
未払法人税等	127,997	12,434
未払消費税等	51,239	19,101
未払費用	28,003	13,618
前受金	803,347	935,021
賞与引当金	242,986	89,952
その他	13,303	21,124
流動負債合計	1,496,726	1,322,045
固定負債		
退職給付に係る負債	4,576	1,591
資産除去債務	23,670	38,460
その他	1,540	1,340
固定負債合計	29,786	41,392
負債合計	1,526,512	1,363,438
純資産の部		
株主資本		
資本金	480,880	589,813
資本剰余金	469,256	578,170
利益剰余金	1,751,110	1,783,141
自己株式	-	△39
株主資本合計	2,701,246	2,951,085
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	216,673	24,099
為替換算調整勘定	△44,510	△33,160
その他の包括利益累計額合計	172,163	△9,060
純資産合計	2,873,409	2,942,024
負債純資産合計	4,399,922	4,305,462

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
売上高	3,600,607	3,648,872
売上原価	1,673,106	1,687,331
売上総利益	1,927,500	1,961,541
販売費及び一般管理費	1,454,351	1,671,467
営業利益	473,149	290,074
営業外収益		
受取利息	184	295
受取配当金	2,100	1,980
為替差益	79,268	14,846
その他	7,688	1,813
営業外収益合計	89,241	18,935
営業外費用		
支払手数料	-	8,434
上場関連費用	44,038	1,678
雑損失	738	248
営業外費用合計	44,777	10,361
経常利益	517,614	298,648
特別利益		
固定資産売却益	-	37
投資有価証券売却益	-	116,646
その他	-	474
特別利益合計	-	117,158
特別損失		
固定資産除却損	5,086	7,876
ゴルフ会員権評価損	2,722	-
関係会社整理損	-	9,937
減損損失	-	163,502
その他	427	-
特別損失合計	8,237	181,317
税金等調整前当期純利益	509,377	234,490
法人税、住民税及び事業税	125,432	54,407
法人税等調整額	△35,046	104,203
法人税等合計	90,385	158,611
当期純利益	418,991	75,878
親会社株主に帰属する当期純利益	418,991	75,878

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
当期純利益	418,991	75,878
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	107,766	△192,573
為替換算調整勘定	△32,189	11,350
その他の包括利益合計	75,576	△181,223
包括利益	494,568	△105,345
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	494,568	△105,345

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2022年1月1日 至2022年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	88,376	1,358,254	-	1,546,631
当期変動額					
新株の発行	380,880	380,880			761,760
剰余金の配当			△26,136		△26,136
譲渡制限付株式報酬					-
親会社株主に帰属する当期純利益			418,991		418,991
自己株式の取得					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	380,880	380,880	392,855	-	1,154,615
当期末残高	480,880	469,256	1,751,110	-	2,701,246

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	108,907	△12,321	96,586	1,643,217
当期変動額				
新株の発行			-	761,760
剰余金の配当			-	△26,136
譲渡制限付株式報酬			-	-
親会社株主に帰属する当期純利益			-	418,991
自己株式の取得			-	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	107,766	△32,189	75,576	75,576
当期変動額合計	107,766	△32,189	75,576	1,230,192
当期末残高	216,673	△44,510	172,163	2,873,409

当連結会計年度(自2023年1月1日 至2023年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	480,880	469,256	1,751,110	-	2,701,246
当期変動額					
新株の発行	92,680	92,680			185,361
剰余金の配当			△43,848		△43,848
譲渡制限付株式報酬	16,252	16,233			32,485
親会社株主に帰属する当期純利益			75,878		75,878
自己株式の取得				△39	△39
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	108,933	108,913	32,030	△39	249,838
当期末残高	589,813	578,170	1,783,141	△39	2,951,085

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	216,673	△44,510	172,163	2,873,409
当期変動額				
新株の発行			-	185,361
剰余金の配当			-	△43,848
譲渡制限付株式報酬			-	32,485
親会社株主に帰属する当期純利益			-	75,878
自己株式の取得			-	△39
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△192,573	11,350	△181,223	△181,223
当期変動額合計	△192,573	11,350	△181,223	68,614
当期末残高	24,099	△33,160	△9,060	2,942,024

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	509,377	234,490
減価償却費	67,498	73,747
のれん償却額	25,480	27,250
受取利息及び受取配当金	△2,284	△2,275
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△116,646
為替差損益 (△は益)	△45,470	△16,235
上場関連費用	44,038	1,678
固定資産除却損	5,086	7,876
関係会社整理損	-	9,937
減損損失	-	163,502
ゴルフ会員権評価損	2,722	-
売上債権の増減額 (△は増加)	17,139	△23,061
棚卸資産の増減額 (△は増加)	170	△40,349
仕入債務の増減額 (△は減少)	△746	30,144
前受金の増減額 (△は減少)	△70,050	122,721
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△44,503	△32,468
賞与引当金の増減額 (△は減少)	33,302	△153,718
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△67,760	-
その他	59,860	△12,918
小計	533,860	273,675
利息及び配当金の受取額	2,284	2,277
法人税等の支払額	△65,899	△212,931
営業活動によるキャッシュ・フロー	470,246	63,021
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,389	△2,906
有形固定資産の売却による収入	-	38
無形固定資産の取得による支出	△51,397	△159,293
投資有価証券の売却による収入	-	127,646
敷金及び保証金の差入による支出	△1,565	△32,960
敷金及び保証金の回収による収入	3,309	5,221
その他	-	474
投資活動によるキャッシュ・フロー	△55,042	△61,779
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	761,760	185,361
上場関連費用の支出	△27,122	△18,594
自己株式の取得による支出	-	△39
配当金の支払額	△26,136	△43,743
財務活動によるキャッシュ・フロー	708,501	122,983
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,505	18,162
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,114,199	142,387
現金及び現金同等物の期首残高	2,146,734	3,260,933
現金及び現金同等物の期末残高	3,260,933	3,403,321

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2023年1月20日を払込期日とするオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資による新株式109,500株の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ92,680千円増加しております。

また、2023年5月17日を払込期日とする譲渡制限付株式報酬としての新株式19,053株の発行により、資本金が16,252千円増加し、資本準備金が16,233千円増加しております。この他、単元未満株式の買取により、自己株式が39千円増加しております。

この結果、当連結会計期間末において資本金が589,813千円に、資本剰余金が578,170千円に、自己株式が39千円となっております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用」

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下、「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、これによる連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、コーチング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

単一のサービス区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	その他	合計
3,015,008	585,599	3,600,607

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

単一のサービス区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1)売上高

(単位：千円)

日本	その他	合計
3,027,529	621,343	3,648,872

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2)有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

当社グループは、当連結会計年度においてのれんの減損損失163,502千円を計上しており、のれんの未償却残高はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
1株当たり純資産額	1,310円62銭	1,267円61銭
1株当たり当期純利益	238円61銭	32円87銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当連結会計年度 (2023年12月31日)
純資産の部の合計額(千円)	2,873,409	2,942,024
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	2,873,409	2,942,024
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	2,192,400	2,320,924

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	418,991	75,878
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	418,991	75,878
普通株式の期中平均株式数(株)	1,755,961	2,308,140

(重要な後発事象)

該当事項はありません。